

前回第 4 回交通会議での主な意見とその対応

第 4 回の主な意見	その対応
<p>パーソントリップ調査を最新版にすべき、運転免許保有者の状況を整理した方が良い。</p>	<p>指摘の通り対応した。 (資料 2・3)</p>
<p>利用者や免許を持っていない人の分析をすべきである。 自動車を使える人のように、日ごろ困っていない大多数の意見を反映するのは公共性があるのかどうか慎重に検討すべきところ。つまり、「困っている人を救う」という視点があっても良い。</p>	<p>住民アンケート調査については、「困っている人」の意見を確認した。 (資料 4) 利用者の意見として住民アンケート調査結果・利用者アンケート調査結果をとりまとめた。 (資料 4・5)</p>
<p>本当に困っている人の意見を吸い上げてほしい。利用できる人は恵まれている。本当に困っている人を救うような計画にして欲しい。 困っている人の手段だけでなく、地域を元気にするという視点を入れて欲しい。</p>	<p>地域公共交通総合連携計画(素案)の「課題整理・対応方針案」を修正。 長期的将来像・短期的対応という 2 段階の計画案とした。 (資料 6・7)</p>
<p>蒲郡市は鉄道に恵まれているので、それを有効活用するという視点は良い。 問題はバスで、「既存のバス路線の維持」と示されたが「選択と集中」を考えるべき。 現在のバス路線に対する批判が非常に強い。 将来の公共交通のあり方を示すのが基本方針であるべき。鉄道を活かしその端末交通をどうすべきかをまとめるべきであろう。現状を肯定する将来像は疑問。</p>	<p>既存のバス路線に対する考え方を加筆・修正し、基本方針を見直した。 (資料 6・7)</p>
<p>「連携計画」とするのであれば、交通モードの連携、関係者間の連携、地域間の連携といったことについてもまとめてほしい。</p>	<p>基本方針に「連携」を加筆。 (資料 6・7)</p>